

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成31年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅱ》</p> <p>ア. 設置に関すること 設置主体、設置場所の決定</p> <p>イ. 教育課程・指導上の工夫に関すること</p> <p>ウ. 都道府県・市町村間の連携に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>本県では、平成29年度より夜間中学設置検討委員会を設立し、夜間中学への理解を深めるとともに、夜間中学の設置に向けた検討を行った。</p> <p>平成29年度11月から実施したアンケートでは、回答のあった者のうち、75%以上が夜間中学の設置を希望しており、検討委員会では本県における夜間中学設置の必要性を認識した。</p> <p>今回の研究を通して、詳細なニーズ調査等を行い、設置形態、教育課程等について研究し、必要な法整備及び環境整備等、夜間中学設立に向け準備を行う。</p>
調査研究の成果	<p>夜間中学の設立のための準備段階として、県民への周知・広報と入学者希望者数など詳細なニーズの把握が必要である。このため、夜間中学を周知するためのリーフレットの配布やメディア（テレビ、新聞、ラジオ、広報誌など）を活用した広報や個別相談会などによるニーズ把握を試みたが、電話での相談や個別相談会の参加者はほとんどいなかった。</p> <p>年度当初の計画では、協議会に代わる設置準備委員会等の組織を立ち上げ、設置主体や教育課程、運営方法等について議論を行う予定となっていたが、詳細なニーズなどの情報が不足している状況で、設置準備委員会での検討は困難であると判断し、教育委員会内で今後の進め方について協議を行った。また、平成30年9月に実施された総合教育会議議題において、夜間中学が議題のとなり、今後の方向性を協議することとなった。</p> <p>会議において、公立夜間中学については2021年4月の開校を目標にして準備を進めていくことを示し、本県の状況や入学者のニーズに対応した夜間中学を設立・運営に向け準備を進めることとした。</p> <p>今後のスケジュールとしては、広報活動やニーズの把握が不十分であるという課題に対して、「夜間中学体験学校」を県内各地で開催して、地域ごとの広報活動やより正確な入学希望者の把握に努めることとした。</p>

一方で、懸案とされていた設置主体や設置場所などについては引き続き市町村と連携しながら協議を続けていくこととした。

その後、県内5地域で体験学校を開催した。

本年度の調査、研究についての成果としては、まず公の会議で夜間中学の開校時期や方向性、スケジュール等が示され、それに向けて準備を進めていく体制ができたことがあげられる。

また、体験学校については、市町村教育委員会の職員が講師を務めるなど、広報や会場準備などで積極的に協力していただくことで、各地域への広報や市町村との連携という点で効果の高い事業といえる。

今後も体験学校等を引き続き実施し、夜間中学について県民へのさらなる周知や詳細なニーズ把握等を行い、2021年の開校を目指し準備を進めていく。